学校だより

７月号

～ひとがすき　まちがすき　いわさきの子～　　令和元年 6 月 26 日

横浜市立岩崎小学校　　電 話 ３３１－５１２３　　ＦＡＸ ３３１－５３４３

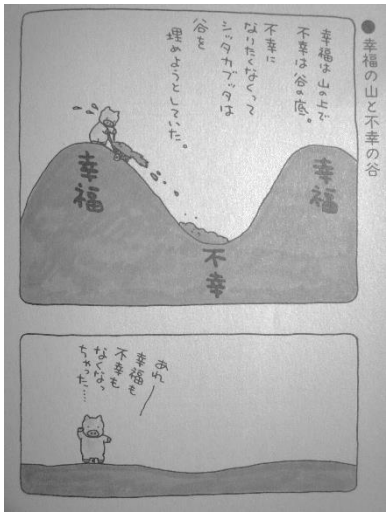
“こころ”の成長

校長　吉田　りえ

「バディ！」とペアを確認する子どもたちの元気な声がプールから聞こえてきます。プール学習が始まりました。今年度は外壁の工事があり、7 月末でプールが終了になるため、例年より一週間早いプール開きとなりましたが、安全を第一に実施してまいります。

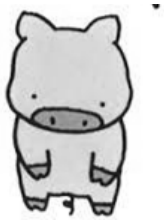
子どもの心の成長には、周りの大人からの愛情が大きくかかわっています。愛情をたっぷり与えられると、子どものこころは安定し、様々な事を繰り返し、いろいろなことを体験しながら成長していきます。やがて反抗の態度を見せる様になり、自分の思い通りに行動出来る様になると、今度は不安な気持ちが出てきます。そして悩むことも増えてきます。悩みや不安が強くなると、再び安心感をもらうために戻ってきます。安心感をもらったら、自分の知らない世界に飛び出して、再び不安になるとまた戻ってきます。そんなことを繰り返しながら子どもの心は成長していきます。

子どもが、親に干渉されると「うるさい！」と言うこともあれば、「聞いてよ～」と甘えてくるなど、子ども自身が自立と依存に葛藤する時がやってきます。親からは色々と干渉されたくない、話すのも億劫だという思いがあるのかもしれません。そうかといって、親が全く関与しないわけではなく、要所で関わってほしいと思っていることもあるでしょう。大人は答えを知っている場合が多いので、つい教えたくなりますが、一呼吸おいてまずは子どもが話し出すのを待つ、そしてじっくり聞いてみてください。子どもが思い立ったときに、不安や心配、悩みや葛藤をぽろっと吐き出せるように、嬉しさや喜びをともに共感できるように、家庭は子どものすべてを受け入れるという安心の場所になってほしいと思います。



幸福は山の上で不幸は谷の底。
不幸になりたくなくって
シッタカブッタは
谷を埋めようとしていた。

あれ～
幸福も不幸も
なくなっちゃった…



「ブッタとシッタカブッタ」
小泉　吉宏　より

人は悩みや不安を抱えて心が成長していきます。成長するためには悩みや不安が必要です。何もない平坦な道ばかりでは、いろいろなことに感じる心が育ちにくくなるのかもしれません。感じ方は一人ひとり違いますが、いろいろなことを感じながら成長してほしいものです。

家庭、地域で過ごすことが増える夏休みに、いろいろな経験から”心の成長”をたくさん感じることができるように、皆様のあたたかいご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、外壁の工事が始まりご不便をおかけしております。9 月末日で終了になる予定です。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。